

授業科目	CE1B12	2単位	必修	講義	1 学年後期	担当 教員	准教授 小野崎 美奈子						
	教育学原論												
授業の概要	① 教育の意義・目的について学ぶ。 ② 乳幼児期の教育の特性と子ども家庭福祉の関連性について学ぶ。 ③ 日本及び諸外国の教育思想や歴史、教育制度について学ぶ。 ④ ④教育実践の基礎及びその実践例について学ぶ。												
到達目標					学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 教育の意義、目的及び子ども家庭福祉等との関わりについて理解する。									○			◎	
2. 教育の思想と歴史の変遷について学び、教育に関する基礎的な理論について理解する。							○	○		○		◎	
3. 教育の制度について理解する。								○	○		◎	○	
4. 教育実践の様々な取り組みについて理解する。								○	○	○	◎	○	
5. 生涯学習における教育の現状と課題について理解する。					○		○						
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はVページ参照													
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標					復 習					
1	オリエンテーション 教育の意義	シラバスに目を通しておく。 教科書 p2～12 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・講義内容について、概要を把握する。 ・保育者になるための教育の学びを理解する。 					今後の学びの見通しを立てる。 本時の学習内容をまとめておく。					
2	教育の目的	教科書 p14～24 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法、教育基本法、学校教育法に定められる教育理念、教育目的について理解する。 ・保育現場の教育目的と目標を理解する。 					本時の学習内容をまとめておく。					
3	教育と児童福祉の関連性	教科書 p26～36 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育と児童福祉の関連を理解する。 ・新たな子ども・子育て支援を理解する。 					本時の学習内容をまとめておく。					
4	人間形成と家庭・地域社会	教科書 p38～48 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のなかで行われる保育所保育を理解する。 ・教育資源としての家庭や地域について理解する。 					本時の学習内容をまとめておく。					
5	諸外国の教育思想・歴史	教科書 p50～60 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・コメニウス、ルソー、フレーベル、ペスタロッチー等の教育思想を理解する。 					本時の学習内容をまとめておく。					
6	諸外国の教育の歴史	教科書 p62～72 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・諸外国における公教育及び幼児教育の発展について理解する。 					本時の学習内容をまとめておく。					
7	日本の教育思想・歴史	教科書 p74～84 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本における公教育及び幼児教育の発展について理解する。 ・倉橋惣三、城戸幡太郎等の教育思想を理解する。 					本時の学習内容をまとめておく。					

8	子ども観と教育観	教科書 p86～96 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本及び諸外国における近代的孩子観の登場と歴史的変遷について理解する。 ・近代教育に影響を及ぼした教育思想を理解する。 	本時の学習内容をまとめておく。
9	教育制度の基本	教科書 p98～108 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育制度及び近代教育の起こりについて理解する。 ・教育拡散問題について理解する。 	本時の学習内容をまとめておく。
10	教育の法律と行政	教科書 p110～120 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育を規定する法律を理解する。 	本時の学習内容をまとめておく。
11	諸外国の教育制度	教科書 p122～132 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・諸外国の教育の現状と課題を理解する。 	本時の学習内容をまとめておく。
12	教育実践の基礎	教科書 p134～144 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムについて理解する。 ・日本の保育内容、方法及び保育形態を理解する。 ・PDCA サイクルについて理解する。 	本時の学習内容をまとめておく。
13	さまざまな教育実践	教科書 p146～p156 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・フレーベルやモンテッソーリ等の理論に基づく幼児教育を理解する。 ・これからの教育実践の課題を理解する。 	本時の学習内容をまとめておく。
14	生涯学習社会と教育	教科書 p158～168 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯教育とは何かを理解する。 	本時の学習内容をまとめておく。
15	現代の教育課題 まとめと振り返り	教科書 p170～180 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の教育課題を理解する。 ・本講義のまとめ ・ノート、資料、レポート等から学びを振り返る。 	本時の学習内容をまとめておく。 学びの成果と課題を把握する。
成績 評価	講義への取り組み（態度、レポート等の提出物）（40％） 期末試験（60％） 合計100％			
教員 からの コ メ ン ト	この授業では、保育の重要な要素の1つである「教育」について、就学前に限定せず生涯にわたる発達を支援する営みとして学んでいきます。就学以降の子どもの育ちを可能な限り高めることができるよう、保育者の視点から「教育」について学んでいきましょう。			
教科 書	書名 新・基本保育シリーズ2 教育原理 著者 矢藤誠慈郎・北野幸子編 発行所 中央法規	推薦 図書	必要に応じて随時紹介する。	